

県中体連 組み合わせ規定

総 体

H30.7.21 一部改訂
R4.8.16 一部改訂
R5.2.11 一部改訂

※ 原則、以下の規定通りに行うが、組合せを行う上で、不具合が生じた場合、役員で相談の上
トーナメントを作成することとする。

<団体戦>

- 1：新人戦の結果。
- 2：各地区の1位が初回戦で対戦しない。丹有・中播は1位扱い。
- 3：各地区の1位・2位を左右に分ける。
- 4：決め手がない場合は抽選を行う。

<個人戦：地区>

- 1：8シードまでは、原則、新人の結果を優先する。
 - ①各地区の1位を4つのブロックに分ける。
 - ②各地区の1位がベスト8まで対戦しない。
 - ③1～12シードには、東播・阪神・神戸の1～4、丹有1、中播1、西播1を抽選（※）で入れる。
※12シードまでに入らなかった分を13～16シードに抽選で入れる。
- 2：各地区の1・2位を左右に振り分ける。
- 3：各地区の1～4位を4つのブロックに振り分ける。
- 4：各地区の1～8位を8つのブロックに振り分けるのが望ましい。

※競技部において、十分な資料がある場合に関して、1に拘束されことなくシード選手を選出
することができる。そのシード順位については、組合せ会の承認を必要とする。

<個人戦：チーム>

- 1：各チームの1番手・2番手を左右に振り分ける。
- 2：各チームの1～4番手を4つのブロックに振り分けるのが望ましい。

<男子ダブルスについて> ※新人と総体の出場枠の差があるため、特別に規定。

- 1：8シードまでは、新人の結果を優先する。
 - 各地区の1位を4つのブロックに分ける。
 - 各地区の1位がベスト8まで対戦しない。
 - 9～12シードには、8シードをもたない地区1番を抽選で入れる。
 - 東播地区を左右3本ずつに振り分ける。
- 2：各地区の1・2位を左右に振り分ける。
- 3：東播・阪神地区の1～4位を4つのブロックに振り分ける。
神戸地区の1～3位を3つのブロックに振り分ける。

※すべての規定は、各大会後に役員で話し合い変更することがある。